

# 袋井市農業集落排水事業

## 中期経営計画

(平成28年度～令和2年度)

## 実績報告書

令和3年9月

袋井市下水道課

平成28年3月に策定した「袋井市公共下水道事業中期経営計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）」の達成状況等について、平成28年度から令和2年度までの決算に基づき、次のとおり報告いたします。

なお、令和2年度から公営企業会計に移行していますが、本計画は、特別会計を基準としておりますことから、特別会計に置き換えています。

（※令和2年度の「袋井市下水道事業経営戦略」策定時に、令和元年度決算時点までの各数値等を報告済）

## 1 計画期間の状況

農業集落排水処理施設は、農業集落の快適で衛生的な生活環境への改善、公共用水域の水質保全のための重要な基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会形成に大きな役割を担っています。

### <事業の推進>

■農業集落排水施設は、地域との協働による施設の維持管理を行うとともに、計画的な施設修繕を実施することにより経費節減に努めています。

平成30年度には、既存の施設や設備の計画的かつ効率的な改築を実施するため、ストックマネジメントの手法を用いた最適化構想及び機能強化事業計画を策定しました。

### <経営の健全化>

■農業集落排水事業は、公共下水道事業同様に、令和元年度に、水道料金等懇話会を設置して、将来にわたる安定的な経営に向けた下水道使用料と合わせて農業集落排水処理施設使用料のあり方等について協議し、この結果に基づいた「意見書」が提出され、令和3年4月からの使用料改定が提言されました。令和2年度に、市で提言を踏まえ検討した結果、使用料改定は必要であると判断しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う市民生活への影響等を考慮し、改定を見送りました。

■令和2年度には、財政の健全化を図るため、地方公営企業法を適用し、公共下水道事業と同様に、特別会計から公営企業会計に移行しました。

■同じく令和2年度には、総務省からの要請に基づいて、「水道料金等懇話会意見書」や「中期経営計画」における成果を踏まえ、公共下水道事業と合わせて中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を新たに策定しました。

■今後は、これまでの「中期経営計画」を引き継いだ「経営戦略」に沿って経営の効率化を図ってまいります。

## 2 事業計画と実績

### (1) 中期財政収支計画・実績

#### ア 特別会計収支計画・実績

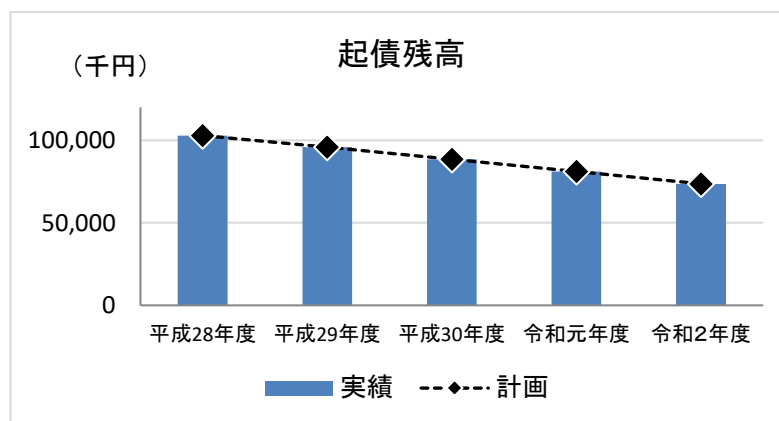
(単位：千円)

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
収入	使用料	計画	2,599	2,600	2,500	2,500	2,500
		実績	2,647	2,641	2,628	2,582	2,691
	一般会計繰入金	計画	15,200	17,274	22,374	17,374	19,374
		実績	15,200	17,300	20,514	19,874	21,000
	国庫補助金	計画	0	0	0	0	0
		実績	0	0	5,000	1,500	4,500
	諸収入(繰越金を含む)	計画	901	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	1,977	2,744	3,026	5,906	622
	合 計	計画	18,700	20,874	25,874	20,874	22,874
		実績	19,824	22,685	31,168	29,862	28,813
支出	排水事業費	計画	9,326	11,500	16,500	11,500	13,500
		実績	8,009	10,587	16,192	8,401	12,922
	起債償還額	計画	9,074	9,074	9,074	9,074	9,074
		実績	9,071	9,071	9,071	9,071	9,071
	予備費	計画	300	300	300	300	300
		実績	0	0	0	0	0
	合 計	計画	18,700	20,874	25,874	20,874	22,874
		実績	17,080	19,658	25,263	17,472	21,993

#### イ 起債残高 (各年度末残高)

(単位：千円)

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総 額	計画	102,869	95,774	88,539	81,164	73,644
	実績	102,869	95,774	88,540	81,164	73,644



(2) 中期指標

(単位:%)

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収益的収支比率 ※1	計画	13.9	12.5	9.7	12.0	10.9
	実績	15.5	13.4	10.4	14.8	12.2
	達成率	111.5	107.2	107.2	123.3	111.9
繰入金比率 ※2	計画	81.3	82.8	86.5	83.2	84.7
	実績	76.7	76.3	65.8	66.6	72.9
	達成率	106.0	108.5	131.5	124.9	116.2
経費回収率 ※3	計画	21.6	18.7	13.8	17.9	15.7
	実績	24.0	24.9	16.2	35.8	60.4
	達成率	111.0	133.3	117.5	199.8	384.8
使用料徴収率	計画	98.1	98.9	99.0	99.1	99.2
	実績	100.0	100.0	99.6	98.7	99.1
	達成率	101.9	101.1	100.6	99.6	99.9

※1 収益的収支比率＝使用料収入÷支出合計

※2 繰入金比率＝繰入金÷収入合計

※3 経費回収率＝使用料収入÷(維持管理費+起債償還金のうち汚水処理分)

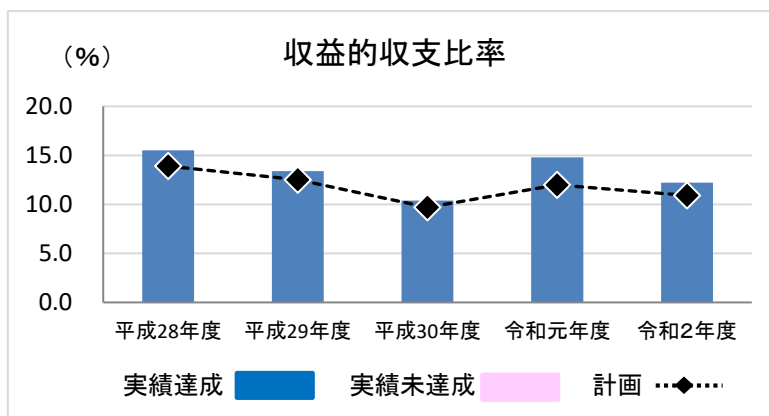
(平成29年度以降は新方式を適用)

◇達成率欄の ■ は達成、■ は未達成

ア 考察

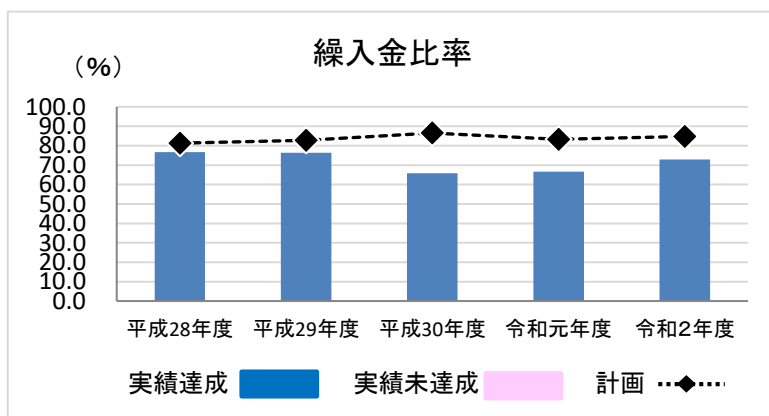
(ア) 収益的収支比率

経過と今後  
 使用者が限定されていることから、ほぼ横ばいで推移している。  
 令和元年度は、修繕箇所が大幅に減少し、支出が減少したことにより、収益的収支比率が増加した。  
 長期的な安定経営のため、引き続き、接続率や使用料の徴収率の向上、維持管理経費の節減に努める。



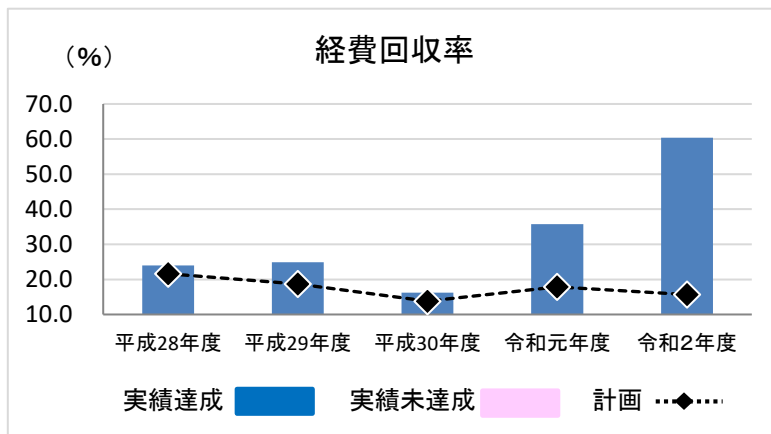
(イ) 繰入金比率

経過と今後  
 使用料収入は、ほぼ横ばいで推移しており、平成30年度以降は、最適化構想及び機能強化整備計画や設備更新への国庫補助金により、収入額が増加したことにより、施設設備の修繕や更新などにより、計画値をさらに下回った。  
 長期的な経営の安定のため、施設設備の適切な管理を行うとともに、維持管理経費の節減と機能強化事業計画に基づき、施設設備の更新を進める。



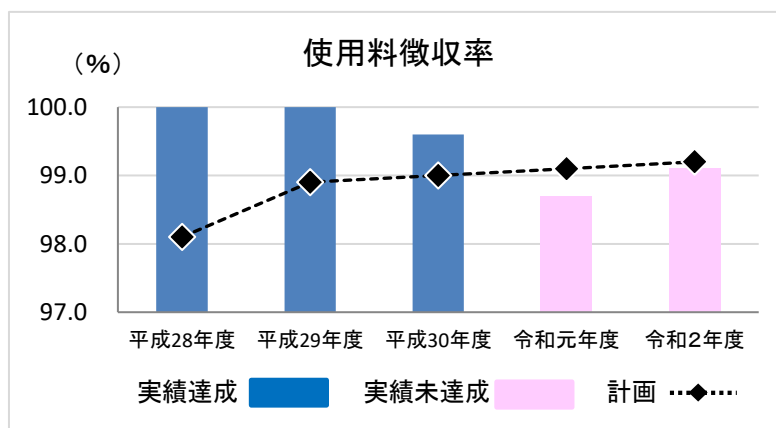
(ウ) 経費回収率

経過と今後  
 平成30年度までは、ほぼ計画どおりで推移した。  
 令和元年度は、施設の機能診断委託料の支出はあるものの修繕箇所が大幅に減少したことにより、経費回収率は上昇し、令和2年度は、この委託料の支出が無くなったことで、さらに経費回収率は上昇した。  
 施設設備の適切な管理を行うとともに、維持管理経費の節減と計画的な修繕に努める。



(エ) 使用料徴収率

経過と今後  
 平成30年度までは、計画値を上回るの徴収率で推移した。  
 令和元年度分は、翌年5月に完納したたか、令和2年度公営企業会計移行に伴う3月打切決算により、年度内納付とならないため、計画値を下回った。  
 長期的な経営の安定と負担の公平性を図るため、納期限内納付を周知し、徴収率の向上に努める。



(3) 定員管理に関する取組

農業集落排水事業の業務は、公共下水道事業と合わせて担当することから、下水道事業の経験年数などから担当を決めるとともに、業務の平準化に繋がるよう努めました。

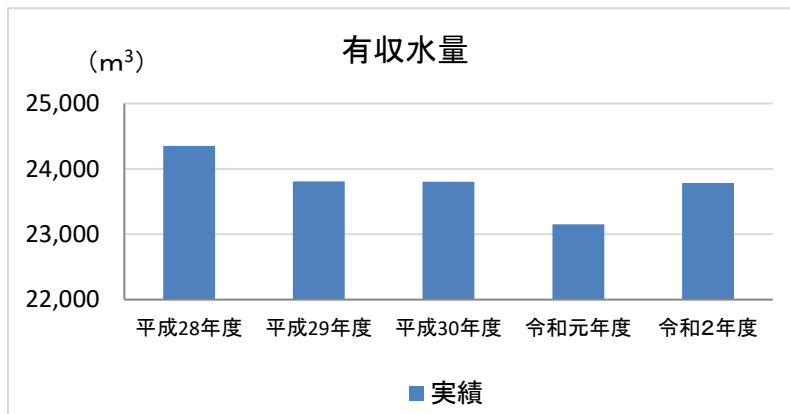
(4) 給与の適正化に関する取組

農業集落排水事業では、職員の業務負担の平準化を図り、時間外勤務の縮減に努めるとともに、担当業務に対して、適正な予算科目からの執行を行いました。

(5) 年間有収水量状況

(単位: m<sup>3</sup>)

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実績	24,349	23,810	23,805	23,154	23,785



### 3 経営基盤強化への取組

#### (1) 経営改革への取組

項目	概要	取組状況					
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地方公営企業法の適用	経営の健全化を目指し地方公営企業会計の導入を図る	計画	基本計画策定	移行事務	移行事務	移行事務	適用
		実績	基本計画策定	移行事務	移行事務	移行事務	適用
経営診断の実施	5年に一度適正な使用料を検討する (水道料金等懇話会)	計画				実施	
		実績				実施	
機能診断調査の実施	施設の維持管理計画を検討する	計画	調査	検討	実施		
		実績	調査	検討	実施		

#### (2) 人材育成への取組

農業集落排水事業では、施設の構造や仕組みなどの知識の習得、トラブル発生時における対応について研修を行いました。

#### 4 参考（各種計画相関図）

